

日本科学者会議 2019 年度大型フィールドワーク実行委員会主催

「夏の学校」2019 韓国・ソウルフィールドワーク

「今、『韓日』関係を考える——現地学習・対話から科学者の役割を考えよう——」

日本科学者会議大型フィールドワーク実行委員会では、毎年テーマを決め、比較的大がかりな院生・若手研修企画(「夏の学校」)を開催しております。

今年に入り、徴用工問題や「慰安婦」問題、貿易問題など揺れる日韓関係、増幅する嫌韓風潮に対し、改めて国境を超えた市民連帯の必要性が明白になりました。そこで、日本と韓国を取り巻く侵略戦争・植民地支配から現代までの歴史問題を客観的に理解し、分断に対抗する科学者の役割は決定的に重要です。

本年度は、韓国から見た歴史の学習、ならびに両国の関係のあり方を模索する場として市民との対話を内容とした、現地(ソウル)研修を企画いたしました。

この機会に、日本から見える日韓関係と、韓国から見える韓日関係の相違点・共通点を客観的に捉え、両国の市民連帯を形成する上で科学者が果たす役割を共に考えましょう！

開催日時：2020年2月25日(火)～27日(木)

25日	午後	● 植民地歴史博物館 ・日本の植民地支配の資料学習 ・徴用工問題についての講演	日本と韓国の市民で資料を持ち寄り、2018年開館。市民連帯から作られた非常に重要な博物館
26日	午前 午後	● 景福宮(朝鮮王朝王宮) ● 西大門刑務所博物館 ● <u>水曜集会</u> ● 戦争と女性の人権博物館 ● <u>韓国の若手団体との討論、懇談会</u>	植民地支配の時代には、破壊され朝鮮総督府が設置、「反日」とされた明成皇后暗殺の現場。 日本大使館前で「慰安婦」問題抗議活動に参加。発言機会あり(予定)。 従軍慰安婦問題学習 望ましい韓日関係が何か、実現のためにどのように連帯するかを討論
27日	午前	● 朴鐘哲人権博物館	1987年光州民主化運動の最初の犠牲者記念館。

※下線太字部分は、交流企画です

申込方法等は裏面参照➡

【対象者】全国のJSA会員の院生・若手研究者、学部生

【参加お申込みの流れ】(第1次しめきり：12月28日)

下記必要事項をご明記の上、実行委員会宛にメールをお送りください。

①ご氏名、②ご所属、③ご住所、④メールアドレス、⑤電話番号、⑥食品アレルギーの有無、⑦会員／非会員の別

【参加費】約55,000円（別途交通費補助支給）

（※集金方法は、お申込み時にご案内致します）

【連絡先】日本科学者会議 2019年度大型フィールドワーク実行委員会

tokyo_insei_kanji@googlegroups.com

掲載内容は2019年11月時点のものです。最新情報は実行委員会までお問い合わせ下さい。